



「生きる希望と勇気」 工藤まりな 市場小6年

「命の重み」 永末日菜 金田小6年

「ゴミの分別」 永末ゆかり 弁城小6年

「原爆被爆者の思い」 城戸優希 上野小6年

「戦争の無い世界に」 高津健太郎 伊方小6年

「生きる権利について」 高津晴香 方城中2年

「今、学ぶべきこと」 安永沙佳 赤池中2年

「いじめと向き合う」 野田胡桃 金田中2年



思いよ、届け。

第8回 福智町少年の主張大会

主催 福智町青少年育成町民会議



次代を担うこの町の子どもたちが、
未来に向けた夢や社会への意見、
日常生活の中で感じたことなど、
自分の気持ちを素直に表現する
「少年の主張大会」。

福智町青少年育成町民会議の主催で
12月8日に公民館金田分館で開かれました。
この大会で町内8校からの代表者たちは
落ち着いた態度とはっきりとした口調で
堂々と会場に訴えかけ、それぞれの想いを
参加者の心へと響かせました。

私は、核兵器を世界からなくすため
には、原爆被爆者の思いを伝え続けて
いくことが大切だと思います。5年生
の頃、お母さんに「広島ひいばあちゃん
んつて、原爆被爆者って本当」と聞くと、
お母さんは「本当」と言っていて、ひいばあ
ちゃんの話をお聞かせしてくれました。

※ ※ ※
ひいばあちゃんが25〜6歳の頃、広
島に原爆が落ちて1〜2週間経った
時、まだ放射能が降る焼け
野原を、親せきを探しに歩
いていたそうです。そのと
きの光景はとても現実の出
来事とは思えず本当に衝撃
を受けました。広い焼け野
原の中を歩いて行く途中、
くさつていくにおいや焼け
たにおいがひどかったこと、
ポロポロの着物を体にま
とって道を歩く人がいたこ
と、死んだ牛が川でぶかぶ
か浮いて腹をパンパンにふ
くらませて四肢をびんと空
へ突っ張らせて流れていた
こと、途中出会った人が歩
くとき、ただれてたれた皮がゆれてビ
チャビチャ音を立てていたこと、線路
沿いを通って避難先に向かう多くの
人たちが、手の先からお化けの手のよう
に手の皮をぶら下げて歩いていて、こ
などを聞き、私は怖くて怖くて「こん
な話、聞かなかつたら良かった」と思
いました。その一方で「この話を聞いて
とてもつらいけど、核兵器の悲惨さを
直接体験したひいばあちゃんの話

原爆被爆者の思い

上野小6年 城戸優希



※最優秀賞を受賞した城戸さんは、2月1日(日)10時から添田町オークホールで開かれる「田川地区大会」で、福智町代表として発表する予定です。

いた私だからこそ、原爆被爆者の人々
の思いを伝えることができるのではな
いか」とも思いました。そして、その
思いとは何か具体的に考えると、原爆
被爆者の人々が伝えていきたいのは、
「戦争をやめてください。私たちが経
験した悲惨な思いを多くの人々にさせ
たくない。そのためには戦争をなくし、
核兵器など戦争の道具を消滅させてほ
しい」ということだと思います。

で人生を突き進む、それが大切だ」と
おっしゃっていました。とてもつらい
思いをしているのに、なんて強い人な
のだろうと思いました。その強い心に
私は、「私も負けないよう、前向きに
行動していこう」とますます被爆者の
思いを伝えていきたいと思いました。

このような思いをどのように伝え
ていけばいいか考えながら6年生にな
り、修学旅行で平和学習に取り組みま
した。訪問先の長崎では、私のひいば
あちゃんと同じように原爆被爆者を体
験した語り部さんからお話を聞くこと
ができました。語り部さんは、人生は
何事も前向きに考えて行動すべきで、
「被爆し、つらい思いはしたけど、それ
でくじけるのではなく、折れない強い心

なつらく悲しい思いをする人がいなく
なるのではないかと思います。
私は、今の平和な世の中が大好きで
す。その平和を根底からくつがえす戦
争や核兵器の存在や使用をなくし、み
んなが笑顔で毎日を送ることができ
よう、被爆者の思いをみんなで伝えて
いきたいと思います。

※文章は原文のままではなく、主張の内容を一部要
約して掲載していますのでご了承ください。

一講評一 しっかりと自分の意見を持って、心を豊かに。

上野小学校 渡邊 伴子 校長



今年の主張大会も福智町の小中学生
のみなさんがしっかりと自分で考
えを持ち、自分なりの行動を起こそう
としていることが発表から伝わり、大変感
銘を受けました。命、戦争、環境、職業観、
いじめなど、どのテーマも今の子ども
たちにとって大変重要なことばかり。それ
ぞれのテーマを真正面から見つめ、考
えを深めていることが心に響く主張で
した。今日のみなさんのように、「自分の
意見を持つこと、それを相手に伝え
ること」は、これから成長していく上でも
大変重要な力です。
現代は携帯電話やインターネットなど
で簡単に想いを伝えることができる時代
ですが、その分「言葉の使い方」に心配
な面がたくさんあります。相手に想いを
伝えるときは、しっかりと自分の頭で考
え、書くことを大事にして、心を豊かに
してください。そして正しいこと、人間
として大事なことを身につけ、立派に成
長してほしいと願っています。